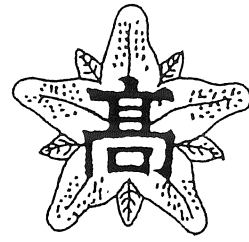


長崎県立小浜高等学校

校章・校歌



校章の図柄はミヤマキリシマの花をデザインしたものである。

「高原にみやまきりしま美しくむらがり咲きて小鳥とぶなり」

(雲仙野岳頂上の天皇歌碑)とも歌われているとおり、ミヤマキリシマは雲仙の春を彩る花である。

一つ一つの花が清らかで優雅、しかも群落として限らない美しさをかもしだすこの花に、生徒一人一人の個性の伸長と、集団となつてうるわしい郷土の学園を建設しようという願いがこめられている。

校歌

一、朝に仰ぐ 雲仙の

嶺にかかれる 雲あわく
夕べは岸の 磯の香に
清新の気の湧くところ
理想につどう 若人が
誇りも高き 南風の丘

二、はるかに野母の 山青く

泰西の夢 しのおとぎ
榕樹の蔭の 湯煙りに
古き歴史も たゆたいて
また拓かなん 新しき
自由の学の 鐘は鳴る

三、香櫃の里の 学び舎に

真理の道を たずぬれば
岬の色も うつろいて
夕陽に映ゆる 千々石灘
明星ここに まばたきて
永久の教えを さとすなり

小浜高等学校 校歌

明朗に、力強く

宮崎 康平 作詞
古関 裕而 作曲

あしたにあおぐうんぜん一の
みねにかかれるくもあわく
ゆうべはきしのいそのかに
せいしんのきのわくところ
りそうにつどうわごうどが
ほこりもたかきはえのおか